

(20) 概要版会議録

資料	頁
第 1 回会議 概要版会議録	(20) -1
第 2 回会議 概要版会議録	(20) -2
第 3 回会議 概要版会議録	(20) -4
第 4 回会議 概要版会議録	(20) -6
第 5 回会議 概要版会議録	(20) -8
第 6 回会議 概要版会議録	(20) -10
第 7 回会議 概要版会議録	(20) -12
第 8 回会議 概要版会議録	(20) -14
第 9 回会議 概要版会議録	(20) -16
第 10 回会議 概要版会議録	(20) -19

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第1回会議 議事録（概要版）**

議 題	施設整備基本計画検討委員会第1回会議
日 時	平成27年5月24日（日） 14:35～15:25
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（欠席1名、松崎区未選出）、事務局：5名、関係市町：3名 コンサル：2名
配付資料	印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会資料、吉田地区同意書・基本協定書

主 たる 事 項

1. 開会

2. 委員長及び副委員長の選任
 - (1) 委員長に大迫委員、副委員長に河邊委員、長谷川委員（欠席）の2名が選任

3. 関係法規について
 - (1) 附属機関条例、附属機関条例施行規則、組織細則について事務局より説明
 - (2) 運営細則、専門部会要綱、会議傍聴遵守事項について、案のとおり承認

4. 今後のスケジュールについて（施設整備基本計画検討委員会）
 - (1) 資料中②会議開催（10回）の各回の議題については、第2回委員会に提示
 - (2) 資料中②会議開催（10回）の日程は、議題により調整が必要となる場合あり。
 - (3) 資料中④先進地の視察は、7月上旬の平日を予定。場所、日時は第2回委員会に提示
 - (4) 資料中⑤建設候補地周辺住民意見交換会の対象地区は吉田区及び松崎区を予定
 - (5) 資料中⑤建設候補地周辺住民意見交換会の場所、日時は今後地元と調整
 - (6) 資料中⑤建設候補地周辺住民意見交換会の日程について、第1回を27年9月5日、第2回を28年2月6日に変更
 - (7) 資料中⑥検討結果説明会の対象地区は印西地区を予定
以上確認され、その他の日程については案のとおり了承

5. 会議の運営について
 - (1) 会議録については、会議終了後10日前後を目処に発言録を委員に配布。概要版はそれ以前に準備でき次第、配布する。
 - (2) 委員意見等の提出方法はメール、FAX等、任意の方法を可とする。

6. その他
 - (1) 次回検討会は、午前中に現地調査を行い、昼食をはさみ午後から開催する。
 - (2) 本日の会議録の署名は、河邊副委員長、竹内委員が行う。
 - (3) 閉会後に委員の集合写真の撮影を行う。

7. 閉会

※ 傍聴者：7名

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第2回会議 議事録（概要版）**

議 題	施設整備基本計画検討委員会第2回会議
日 時	平成27年6月21日（日） 13:00～15:30
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（欠席1名、松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名 コンサル：5名
配付資料	・施設整備基本計画検討委員会第2回会議資料 ・参考資料-1：意見書一覧

主 た る 事 項

1 開会

(1) 会議録署名は原委員と酢崎委員で了承

2 会議録について（第1回会議）

(1) 第1回会議会議録概要版のメール送付確認、全文会議録署名後の送付方法確認、組合ホームページへの掲載について確認

3 意見書について

(1) 意見書の取り扱いについて、委員長宛の意見書については用地検討委員会時同様、個別に審議せず、議題に応じて参考とする。

(2) 組合宛の意見書については、組合にて対応する。

4 検討委員会のスケジュールについて

(1) 検討委員会のスケジュール及び検討項目及び基本計画の目次構成については、提示資料を基本とするも、委員会での議論のうえ、適宜柔軟に対応する。

5 次期中間処理施設整備事業のスケジュールについて

(1) 現時点での事業スケジュールとして了承

6 次期中間処理施設整備の基本方針について

(1) 基本方針の理念、方向性については了承。下記①～④ほか文言等調整は委員長・事務局により以後再調整

① 「効率的かつ経済性を考慮した最新技術」＝「最新技術」が良いものとは限らない。

② 「防災拠点」を付加＝強靱な施設整備として

③ 「です」「ます」調の調整

④ 「(2) 循環型社会形成と地域活性化の拠点となる施設整備」に項目追加

7 次期中間処理施設の処理システム・処理方式について

(1) 処理システム方式・処理方式を焼却方式・灰溶融方式に絞り込み検討を進める。

(2) 先進地視察を第3回会議から第4回会議までの間の平日に変更（日程案は次回会議に提出）

8 その他

(1) 第3回検討会は7月12日(日)13:00から開催

9 閉会

※ 傍聴者 : 6名

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第3回会議 会議録（概要版）**

議 題	施設整備基本計画検討委員会第3回会議
日 時	平成27年7月12日（日） 13:00～15:15
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（欠席1名、松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名 コンサル：4名
配付資料	・施設整備基本計画検討委員会第2回会議資料、 ・施設整備計画に関する意見書ほか
主 たる 事 項	
<p>1. 開会</p> <p>(1) 会議録署名は山崎委員と宮内委員で了承</p> <p>2. 会議録について</p> <p>(1) 第2回会議会議録概要の確認、全文会議録署名後の送付方法確認、組合ホームページへの掲載について確認</p> <p>3. 意見書について</p> <p>意見書2通の説明・報告</p> <p>(1) 意見書の内容を検討し、より良い施設をつくって貰いたい。</p> <p>(2) ガス化溶融炉については事故事例もあるが、それだけでは処理方式を絞ることはできないため、今後も焼却、ガス化溶融を候補として処理方式を検討していく。</p> <p>4. 計画施設規模の検証について</p> <p>(1) 今回会議資料での H25、H26 の実績値については削除とする。</p> <p>(2) 施設規模については、次期中間処理施設の稼働時期が平成40年度とかなり先となるため、今回の施設整備基本計画で検討するには無理がある。また、その間に2度のごみ処理基本計画の改訂が予定されていることから、次回のごみ処理基本計画を改訂する際に検討するものとし、本委員会の審議事項から削除する。</p> <p>(3) ごみ処理基本計画の平成40年度推計ごみ量から導き出した施設規模156t／日では、稼働開始年度が前後することで、施設規模に過不足が生じることが予測されることによる検証は行う。</p> <p>(4) 施設規模の検討はごみ処理基本計画によるものの、メーカーアンケートに採用する施設規模は、156t／日です承された。</p> <p>5. 計画ごみ質について</p> <p>(1) 説明資料は分かり易いものとするよう検討し、専門用語については用語集を添付する。</p> <p>(2) メーカーアンケートに採用する計画ごみ質は、了承された。</p>	<p>説明・指示</p>

6. 公害防止基準について

- (1) 排ガス等の自主規制値（案）は前計画値を暫定として採用するが、アンケートによるメーカーの提案値を妨げるものではない。
- (2) 公害防止基準については、コストも考慮した検討を行う必要がある。
- (3) 公害防止基準は、将来に関わることなので、予算だけでなく環境についても考慮して欲しい。

7. プラントメーカーへのアンケート調査項目と実施工程について

- (1) アンケート項目はメーカーからの回答の統一性を図るため、今後協議していく。
- (2) 大規模災害については、想定する規模を明示して欲しい。
- (3) 今回のアンケート項目は施設に対する基本的な事項を対象とする。
- (4) アンケートの対象処理方式は、焼却方式、ガス化熔融方式とする。
- (5) アンケート実施工程は了承された。

8. その他

- (1) 基本方針について、第9回の答申素案の際には（案）を削除する。
- (2) 先進地視察については、候補一覧から2施設程度を選定する。選定は組合に一任する。
- (3) 先進地視察日程は8月3、4日のいずれかで検討する。視察先の都合次第では変更の可能性もあるため、組合は早急に日程調整を行う。
- (4) 第4回委員会は8月23日第四日曜日に開催予定（同3F会議室 13時～）
- (5) 先進地視察、会議開催通知はメールにて連絡

9. 閉会

※ 傍聴者 : 6名

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第4回会議 会議録（概要版）

議 題	施設整備基本計画検討委員会第4回会議	
日 時	平成27年8月23日(日)13:00～15:30	
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室	
出席者	委員：6名（欠席2名、松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名 コンサル：4名	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備基本計画検討委員会第4回会議資料 ・施設整備計画に関する意見書ほか 	
	主 たる 事 項	説明・指示
1. 開会		
(1) 会議録の署名は、河邊副委員長、竹内委員で了承		
2. 会議録について（第3回会議）		
(1) 第3回会議会議録概要の確認、全文会議録署名後の送付方法確認、組合ホームページへの掲載について確認		
3. 地域振興策検討委員会第3回会議の報告について		
(1) 地域に求められる将来像、地域の課題、地域振興策のアイデア抽出を実施し、次回会議でアイデアの絞込み、連携効果、事業展開場所の検討を経て、意見交換会に臨む予定		
4. 意見書について		
(1) 今後、吉田地区から、ふじみ野クリーンセンターを目標（公害防止基準）とすべきとの同意見の意見書が提出されると思われる。		
5. 検討委員会等スケジュールについて		
(1) 今回会議の審議内容の一部は8/27期限のアンケート結果を整理したうえで、次回、第5回会議で示す。		
(2) 審議日程が変更となることに伴い、第5回会議のボリュームが大きくなるため、第5回から第8回会議までの間で審議日程を事務局調整		
6. リサイクルセンターについて		
(1) 本計画における処理施設規模は、現ごみ処理基本計画等を踏襲し15t/日とするが、決定事項ではなく、施設整備にあつては直近のごみ処理基本計画の計画値により改めて検討する。		
(2) 粗大ごみの中から家具類を補修・販売するリサイクルプラザ機能は、地域振興策との関連もあり、次回以降の委員会で、現施設の実績等を示し、必要な機能について結論を出す。		
(3) リサイクルセンターでの災害ごみの受入計画はないが、受入れがあつた場合にも、仮置き等の対応できるよう考慮しておく必要がある。		

<p>7. その他</p> <p>(1) 建設候補地周辺住民意見交換会について</p> <p>① 意見交換会の目的は、検討委員会の途中経過、方向性を示し意見を頂くことにあり、質疑の時間をできるだけ多く設け、説明は簡潔に行う。</p> <p>② 意見交換会について、吉田地区と松崎地区では考えや認識に違いがあると思われるため、説明資料に配慮するとともに、住民がわかる説明資料を工夫</p> <p>(2) 施設整備基本計画検討と連携する地域振興策（案）</p> <p>① 建設候補地内の施設機能、建替え用地を活用する地域振興策メニューは地域域振興策検討委員会からの提案により、施設機能等を損なわない範囲で検討する必要があり、活用内容については当検討委員会で検証する。</p> <p>(3) その他</p> <p>① 第5回委員会は9月13日第二日曜日に開催予定（同3F会議室 13時～）</p> <p>② 第6回委員会を10月18日から10月17日に変更調整</p> <p>8. 閉会</p>	
--	--

※ 傍聴者 : 5名

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第5回会議 会議録（概要版）

議 題	施設整備基本計画検討委員会第5回会議	
日 時	平成27年9月13日(日)13:00～15:35	
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室	
出席者	委員：6名（欠席2名、松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名 コンサル：5名	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備基本計画検討委員会第5回会議資料 ・施設整備計画に関する意見書ほか 	
主たる事項		説明・指示
<p>1. 開会</p> <p>(1) 本日の会議録の署名は、原委員、酢崎委員が行う。</p> <p>2. 会議録について（第4回会議）</p> <p>(1) 概要版を資料外別添①として配布</p> <p>3. 地域振興策検討委員会第4回会議の報告について</p> <p>(1) 主にこれまでの会議で集約整理した地域振興策の総合パッケージについて、現地の航空写真を用い、展開する現場を眺みながら精査を加えた。</p> <p>(2) 主な意見として、各地域振興策が効果的に連携することによる「地域まるごとミュージアム」的な大きな括りをイメージさせ、展開する場所は、細別化せず大きく括ること。</p> <p>(3) スコーラと称する各種人材育成を視野に入れた学校機能も付与させる。</p> <p>4. 意見書について</p> <p>(1) 意見書1通の説明・報告</p> <p>5. 建設候補地周辺住民意見交換会報告について</p> <p>(1) 松崎区は安全・安心への関心・心配する様々な意見が直接伺え、有意義であった。吉田区は地域振興策に係る議論が主であったように思えるが、松崎区同様、施設整備に係る意見もあり、今後の検討に活かしていきたい。</p> <p>(2) 松崎区は以前（用地検討時の説明会）に比べ、次期施設の建設について前向きな発言があり、施設周辺の整備への期待が感じられた。一方、吉田区では以前より更にプラス思考で施設整備を進めていこうという姿勢が伺え、それぞれの地区での考え方、認識の違いが見られた。</p> <p>6. 施設の安全対策等について</p> <p>(1) 「安全・安心な施設」、「防災拠点としての施設」に要求されることは今回の委員会のポイントになる。安全・安心については落ち度の無いよう、検討対象外の項目であっても、検討対象外とする理由を挙げる必要がある。また、作業員の安全確保策についても、委員会で触れて欲しい。</p> <p>(2) テロや外部飛来物に関しては、焼却施設が外部に被害を及ぼす施設ではなく、発生する確率が低いことから、今回の検討対象としていない。そういった議論を議事録に残すことで、検討から漏れていないことが明らかになるのではなか。</p> <p>(3) 施設の閉じ込め対策は、施設全体を負圧にすることやシールを行うことで対応</p>		

している。停止した場合にも外部に有害物質が飛散することのないよう設計することが基本となっている。

- (4) 施設の腐食に関しては、定期点検、結露しない温度対策、腐食しにくい部材を使用するなどの対応を図る。
- (5) 気象条件はこれから行う、環境影響評価の中で条件等を設定し検討する。
- (6) 手選別作業員の安全対策については、選別設備自体に安全対策が施されているほか、防護マスク等安全に対する配慮、安全教育を徹底する。
- (7) 災害時に廃棄物を支障なく処理することが求められ、重要度係数が 1.25 であっても、これまでの災害で致命的な損傷を受けた例は無いため、1.25 で妥当であると思われる。ただし、議論したことは記録として残しておく必要がある。
- (8) 災害時始動用電源の種類については、今後の詳細設計等の段階で改めて検討を行うものであるが、確保の必要性と基本の方針として確認する。

7. エネルギーバランスについて

- (1) 施設規模 156t/日でどれくらいの規模の地域振興策が可能であるのか、どれくらいの熱利用ができるのか、詳細でなくて構わないがイメージができるような資料を提示して欲しい。併せて、どのような問題、課題があるのか、示して欲しい。
- (2) 環境省の交付金の交付要件について次回の検討委員会で説明する。

8. 処理方式の選定について

- (1) メーカーアンケートは 8 社に依頼をしたが 4 社が辞退し、2 社から回答が得られ 2 社は回答にもう少し時間がかかるとの状況である。そのため、各方式の比較検討は、これまでの知見などを用いた技術の比較検討とした。
- (2) 現在の技術では、各方式で耐用年数や安全面において大きな差はない。
- (3) 組合は最終処分場も有しているため、そのことも考慮した処理方式とする必要があるのではないか。
- (4) 将来のごみ処理に係る費用が抑えられる技術が良い。
- (5) 委員会資料に記載されている評価（事務局案）については、妥当であると考えますが、記載した評価についての理由を示したほうが良い。
- (6) 次回の委員会では、検討委員会としての総合評価を記載し、決定する。

9. その他

- (1) 次回は、10月17日（土）（13時～同会議室）に開催する。

※ 傍聴者 : 5名

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第6回会議 会議録（概要版）**

議 題	施設整備基本計画検討委員会第6回会議
日 時	平成27年10月17日(土)13:00~15:45
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（欠席1名、松崎区未選出）、事務局：7名、関係市町：3名 コンサル：3名
配付資料	・第6回会議次第 ・第6回会議資料 ・資料外別添① ・資料外別添② ・参考資料1

主 たる 事 項	説明・指示
<p>1. 開会</p> <p>(1) 会議録の署名は、山崎委員、宮内委員が行う。</p> <p>2. 会議録（第5回会議）について</p> <p>(1) 概要版を資料外別添①として配布</p> <p>3. 地域振興検討委員会第5回会議の報告について（主な報告内容）</p> <p>(1) 地域振興策総合パッケージについて中間決定（案）の決定</p> <p>(2) 地域振興策事業スキームについて、関係者役割分担審議</p> <p>(3) 地域振興策の展開スケジュール</p> <p>4. 意見書について</p> <p>(1) 提出が無かった旨報告</p> <p>5. 処理方式の選定について</p> <p>(1) 各方式とも評価記載はまとまりがあり、妥当である。</p> <p>(2) 焼却方式は、ストーカ式が優位とする。</p> <p>6. エネルギーバランスについて</p> <p>(1) 焼却炉の年間稼働日数が、2炉運転166日となっているが、2炉の連続運転期間は最長30日程度になると考えられるため、留意が必要である。</p> <p>(2) 焼却炉の運転は、ごみ量によるが1号炉60日間→1,2号炉30日間→2号炉60日間といったサイクルでの運転になることが一般的である。</p> <p>(3) 全炉停止が7日間と記載されているが、最大7日のように読み取れる。故障が想定される箇所については点検を行っているため、故障はほとんどないが、温水センターへの蒸気を送る配管が破裂したこともあり、法定点検のほかに故障等で全炉停止することもあるため、最低7日間の全炉停止である旨を記載する必要がある。</p> <p>(4) 施設の負荷は、管理棟やリサイクルセンターでのエネルギー使用を考えている。ストブローなどの設備によるエネルギーの利用は、図2、3の左側の円グラフのオレンジ色に該当する。また、右側の円グラフは、左側の円グラフのエネルギー回収率（青色の扇形）の内訳を示している。左右のグラフの関連がわかり難いため、工夫する。</p> <p>7. 排ガス自主基準値について</p> <p>(1) 厳しい自主規制値の設定は、設備費や薬剤費の高騰に繋がり、薬剤量の増加は環境負荷にも繋がる。近隣の施設の船橋北部の基準値を参考に表-4の排ガス自主基</p>	

準値は妥当と考えられる。

- (2) 資料の表 3 と表 4 の間には説明がなく、周辺施設の基準値の比較をもとに決定したように感じるため、何らかの説明が必要である。
- (3) 基準値は、乾式法により達成できる範囲と考えている。
- (4) 地域住民の方に安心して頂くための自主基値でもあるので、運用ルール（基準値超過時の対応等）についても、今後協議していく必要がある。

8. 施設整備基本計画（その1）について（造成、アクセス道路）

- (1) 造成計画は、平面施工と掘下げ施工の選択となっているが、これまでの吉田区の要請（掘下げ施工）を反映したものではないため、再検討する。今回の資料は取り下げる。
- (2) 総事業費や建物の高さなど、想定内で示すことができるものを出して欲しい。
- (3) アクセス道路については、既存の道路（松崎 - 吉田線）を活用することを条件として 5 案を提示しているが、前提条件や最終的なルート決定の期限などの情報が欠落しているため、基本的な条件を整理したうえで、再検討する。アクセス道路についても、資料を取り下げる。

9. その他

- (1) 次回の第 7 回検討委員会は 11 月 15 日曜日 13 時から開催であるが、現施設の法定点検のため、開催場所については別途連絡をする。

※傍聴者：3名

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第7回会議 会議録（概要版）**

議 題	施設整備基本計画検討委員会第7回会議
日 時	平成 27年 11月 15日(日)13:00～15:30
場 所	印西市立中央駅前地域交流館 2階会議室
出席者	委員：7名（欠席1名、松崎区未選出）、事務局：7名、関係市町：3名 コンサル：4名
配付資料	・第7回会議次第 ・第7回会議資料 ・資料外別添① ・資料外別添② ・参考資料-1 ・参考資料2 ・参考資料3

主 た る 事 項

1. 開会

- (1) 長谷川副委員長（学識委員）の解囑について事務局から報告
- (2) 会議録の署名は、河邊副委員長、竹内委員が行う。

2. 会議録（第6回会議）について

- (1) 概要版を資料外別添①として配布

3. 地域振興検討委員会第6回会議の報告について（主な報告内容）

- (1) エネルギーバランスについて、全量発電できる設備の整備検討の意見
- (2) 意見書として提出された新たな地域振興策アイデアとして、ゲストハウス（宿泊機能付き）、マリーナ（周辺の水辺環境の活用）、オンデマンド交通（地域の交通弱者対策）の追加
- (3) 地域振興策検討委員会の調査審議事項から、事業規模、概算事業費の算出を除くこととし、今後の周辺住民等と組合との対話により明らかにする。

4. 意見書について

- (1) 意見書1通の説明・報告

5. エネルギーバランスについて

- (1) 法定点検による最低 7 日間全炉停止のほか、故障や事故を未然に防ぐための点検等による停止に備え、バックアップのための補助ボイラ等が必要と考えているが、熱の供給元、供給先のどちら側で設置するののかについては、経済性も含め、今後検討をしていく。また、全炉停止の時期については、日程の調整等で工夫したいと考えている。
- (2) 今後人口が減少していくことを考慮し、将来的に経済的負担とならない施設にして欲しい。
- (3) バックアップのボイラの設置は経済性に関わることから、参考として、想定している発電規模のタービン単体の金額を示して欲しい。
- (4) 2 炉運転時に発生する熱エネルギーを基本に最大限活用する場合は、1 炉運転の期間（192 日）、全炉停止期間のバックアップを補助ボイラ等による熱源確保が必要となることを踏まえ、地域振興策の検討をして欲しい。

6. 防災拠点化について

- (1) 災害廃棄物処理計画は、自治体で作成するものとされていることから、次期施設内のストックヤードの設置については関係市町との調整となる。
- (2) 「自家発自家消費扱い」において、「隣接する構内」についての整理が必要である。
- (3) 今後、施設規模等の再検討や地域防災計画との調整など課題はあるが、具体的な施設整備にどう反映させるかについては、地域振興策の施設検討を踏まえ、防災拠点化の方向性について整理し、とりまとめることとする。

7. 事業方式について

- (1) 事業方式は、資料中 DB 方式（公設公営方式）ほか7方式の中から、近年の動向を踏まえ事業方式の絞込みを行い、第8回会議においてVMF比較により審議することとする。比較対象は公設民営手法で最も採用実績の多い DBO 方式、PFI 手法の中で最も採用実績の多い BTO 方式、比較基準として現在の印西クリーンセンターが採用している DB 方式（公設公営方式）の3方式について、先進事例の課題も含め総合評価を行うこととする。
- (2) 地域振興策も含めた事業方式の例についても、調査して欲しい。
- (3) 事業発注の際は処理方式の選定も含め発注することが望ましいとの意見書の提出があったが、千葉県では、環境影響評価を行う前に、焼却方式を決定しておく必要がある。
- (4) 会議資料の DBO 方式について、「設計建設」の主体を、「公共及び民間」に修正する。

8. その他

- (1) 次回委員会は12月13日（日）13時～印西クリーンセンター3F会議室
- (2) アクセス道路、造成計画について審議予定

※傍聴者：6名

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第8回会議 会議録（概要版）**

議 題	施設整備基本計画検討委員会第8回会議
日 時	平成27年12月13日(日)13:00～15:15
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：5名（欠席2名、松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名 コンサル：4名
配付資料	・第8回会議次第 ・第8回会議資料 ・資料外別添① ・資料外別添② ・参考資料1 ・参考資料2 ・参考資料3 ・参考資料4

主 た る 事 項

1. 開会

(1) 会議録の署名は、酢崎委員、宮内委員が行う。

2. 会議録について（第7回会議）

(1) 概要版を資料外別添①として配布

3. 地域振興検討委員会第7回会議の報告について（主な報告内容）

(1) 地域振興策概略事業スキームの再審議

(2) 地域振興策総合パッケージの展開種別毎の評価にあたり評価様式の審議

4. 意見書について

(1) 意見書3通の説明・報告

5. 事業方式について

(1) 3方式（DB方式、DBO方式、BTO方式）で維持管理要員に最大5人の差があるのはなぜか。また、DBO方式を25名で運営していくことは可能か。

→ DB方式では公共のリスクで安全面を考慮し、完全分担制を用いているのに対し、BTO方式では、民間のリスクで安全が確保できる範囲で兼務をしていることが多いことから、管理要員数に差がでてくる。DBO方式においても、兼務を行うことで技術的には25人体制で管理・運営していくことが可能である。

(2) BTO方式において、何らかの要因で当該SPCによる事業の継続が不可能となった場合はどうするのか。

→ 公共と金融機関が直接契約を結んでいることから、事業の継続が不可能となった場合、金融機関が融資資金回収のために新たな事業者を探すことになる。メリットとして、公共が新たな事業者を探す必要がないことがある。

(3) 委員会としてはDBO方式を推奨する方針とし、発注に際しては事業範囲をごみ処理施設に限定したうえで、総合評価競争入札方式が有効として答申に反映する。

6. 造成計画について

(1) 建設候補地に隣接した土地の太陽光パネル事業への影響を検討したか。

→ 今回は建物の高さによる太陽光パネルへの影響は検討していない。

- (2) 現時点では、用地検討委員会での答申を踏まえ 2.6ha の範囲内での計画を前提としており、候補地周辺の土地の買収等は考慮しない。
- (3) 切下げを行うことで煙突高さが変わってくるが、周辺地区の環境への影響はないのか。
→ 環境影響評価を行う上で、煙突の高さを決定する必要がある。煙突の高さを一定とした場合、切下げにより地盤高が変化するため、排ガスの最大着地濃度、着地地点は変わってくるが、設定した排ガス規制値が厳しいレベルであるので、環境影響評価において問題にはならないと考えている。
- (4) 煙突の高さも協議事項であるため、次回以降の委員会で検討する。
- (5) 実現性において、10m切下げは隣地協力の難しい課題を抱えていると考えている。用地の拡張など課題を解消するための考え方を示し、課題解決にあたる必要がある。
- (6) 造成計画は、この委員会で決定を行わないで欲しい。地元住民の意向も踏まえた慎重な対応をして欲しい。
- (7) 委員会としては、3案（10m 切下げ、5m切下げ、平地）それぞれについて検討評価を行ったとして、今後の地元協議において様々なことを考慮して進めるべきとした答申としてまとめる。

7. アクセス道路について

- (1) 地域振興策は構想段階であるため、具体的に地域振興策を意識したルート案ではない。
- (2) 市道松崎吉田線の交通量調査は実施していない。現状の収集車は平均 120 台/日である。
- (3) 災害廃棄物や焼却灰の移送が可能となるよう、10 トン車両が走行できる計画としたほうが良い。
- (4) 市道松崎吉田線は、平成 32 年度完成の予定で、工事車両の通行は可能と考えている。
- (5) ④⑤案については土砂災害地域に該当するため、③⑥案については距離が長く整備コストが大きいため、委員会審議により対象外とする。
- (6) ⑦⑧案は、松崎区集落内を収集車両が往来することによる住環境への懸念のほか、既存道路幅により家屋にも影響を及ぼす用地確保への懸念など、事業的難度を課題として追加する。
- (7) ⑦案は、松崎区集落内を通らないルートについても再考して欲しい。
- (8) ①②⑦⑧案について、事業難度、課題の項目を加えた資料を作成し、答申でまとめる。

8. その他

- (1) 次回委員会は 1 月 17 日（日）13 時～ 印西クリーンセンター3F 大会議室

※傍聴者：7名

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第9回会議 会議録（概要版）

議 題	施設整備基本計画検討委員会第9回会議		
日 時	平成28年1月17日(日)13:00～15:05		
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室		
出席者	委員：7名（松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名、コンサル：3名		
配付資料	・第9回会議次第 ・第9回会議資料 ・資料外別添① ・資料外別添② ・参考資料1		
主 たる 事 項			説明・指示
<p>1. 開会</p> <p>(1) 会議録の署名は、原委員、山崎委員が行う。</p> <p>2. 会議録について（第8回会議）</p> <p>(1) 概要版を資料外別添①として配布</p> <p>3. 地域振興検討委員会第8回会議の報告について（主な報告内容）</p> <p>(1) 施設整備基本計画検討委員会第8回会議の報告において、アクセス道路は1本の前提のように見受けられるが、災害時対応等を考慮すると、2方向以上のルートを確認する必要があるのではないかとの意見があった。</p> <p>(2) 地域振興関連施設へのアクセス道路は、施設整備側とは別に検討されたいとの意見があったが、現時点では、地域振興策を展開する場所や規模等の具体的な決定がないため、来年度に地元と組合との協議により決めることとなった。</p> <p>(3) 福川委員長と加藤副委員長から、ご自身が関わられた取り組みや事例の紹介、今後の地域振興策の実現へ向けた考え方が示された。</p> <p>(4) 地域振興策総合パッケージの展開種別毎の評価について意見を伺い、第9回会議で確認いただく予定</p> <p>4. 意見書について</p> <p>(1) 意見書2通の説明・報告</p> <p>(2) 事業方式検討のライフサイクルコスト試算に使用した建設コストについては、精査する方向で、答申素案の議題で議論する。</p> <p>5. 煙突高等の未審議事項について</p> <p>(1) 概略ではあるが、基盤切下げを考慮した排ガスの拡散計算を行った。排ガスの自主規制値は非常に厳しい値であり、環境基準の100分の1程度であることから、基盤切下げにより、煙突高さが10m変化しても着地濃度への影響はわずかであるため、環境への影響はないと考えられる。そのため、煙突高さは59mを基本とし、周辺住民との協議により決定するとしてまとめる。</p> <p>6. 答申素案について</p> <p>(1) 答申素案は、本編と資料編の2構成となっている。資料編は、目次構成のみ提示とさせていただく。本編の「はじめに」は空欄となっているが、大迫委員長の挨拶を記載する。</p> <p>(2) 次期施設では、ごみの出し方は変わるのか。 → ごみ処理基本計画の改訂の際に、ごみの出し方について変更がある可能性があるが、現段階では同じ出し方と考えている。</p> <p>(3) プラスチック容器包装類は焼却対象なのか。</p>			

- ごみ処理基本計画の改訂を要するところでもあるが、答申素案では、プラスチック類の焼却も想定した内容となっている。
- (4) 「第2章 1-3 各設備計画」 p 39 下水道が整備されるものであればの整備を踏まえた記載にして欲しい。
→ 「第2章 6 ユーティリティ」についても、下水道についての表記を加え、整合を図る。
- (5) 「第2章 1-4 安全対策」 p 42 施設としての閉じ込め機能や負圧の維持、物理的障壁について記載して欲しい。
- (6) 「第2章 1-5 火災対策」 p 43 リサイクルセンターには、防爆対策の記載があるが、焼却施設にはないので、記載して欲しい。
→ リサイクルセンターにはガスボンベ等が搬入される恐れにより、爆発の可能性が考えられるが、焼却施設には、可燃物が搬入されるため、一般的に火災対策のみで、防爆対策は行わない。
- (7) 「第2章 3-2 余熱利用施設への熱供給システムの前条件」 p 59 前条件が理解しづらいので、わかりやすく表現してほしい。
- (8) 「第2章 4-1-(6) 自主規制値」 p 67、68 水銀の扱いについては注記で触れる必要があると思われる。
- (9) 「第2章 7 アクセス道路」 p 89 アクセス道路の説明が必要ではないか。
- (10) 「第2章 5-1 災害対策、防災拠点化及び耐震構造」 p 71 にストックヤードの整備についての記載があるため、「第2章 6-7 施設配置」に「駐車場をストックヤードとして利用する」などの記載の追加を検討いただきたい。
- (11) 「第2章 6-8 造成計画」 p 84 基盤切下げ 5m切下げと 10m切下げでは価格評価が異なるため、それぞれの評価で記載してほしい。
- (12) 「第2章 6-7 施設配置」 p 85 の造成・施設配置計画比較表に、煙突高さによる環境への影響を追記して欲しい。また、p 83 施設配置図の寸法が見えにくい箇所があるため、修正して欲しい。
- (13) 「第2章 9-4 環境測定」 p 96 モニタリングポストの例としては一般の方が見やすいところに配置されている。「はだのクリーンセンター」の写真を使っているが、現施設にもモニタリングポストは設置されているため、現施設の写真と差し替える。
- (14) 「第3章 5 事業スキーム別ライフサイクルコストの試算」 p 107、108 は事業費として誤解を招くことが危惧されるため、意見書の内容を踏まえて精査し、修正を行う。
- (15) 「第3章 事業方式」 p 98 冒頭の説明について違和感があるため、誤解を招かぬよう記載を改める。
- (16) 「第4章 2 整備スケジュール」 p 115 埋蔵文化財調査により計画の遅れにつながる恐れはないか。
→ 調査に着手しないことには言い切れないが、現地調査人員を多く配置いただくことで、調査期間の短縮は可能
- (17) 「第4章 2 整備スケジュール」 p 115 現施設延命化工事後の稼働期間の明示、次期施設工事発注行為を明示してはどうか。
- (18) 「交付要件」、「交付金」、「前計画」などは、正式名称での記載にしてもらいたい。また、地域住民にも理解できる表記にして欲しい。
- (19) いずれの項目も、結論と図表だけが示されているところが多く見受けられるが、説明を加える

など構成を工夫して欲しい。

7. その他

- (1) 1月25日まで委員意見・指摘を受け付け、本日会議での意見や指摘事項等を踏まえ修正を行う。
- (2) 2月1～15日までパブリックコメントを受け付ける。関係市町庁舎・出張所、組合で関係資料の閲覧が可能
- (3) 2月6日に建設候補地住民説明会（吉田区、松崎区を対象）実施予定
- (4) 3月6日に検討結果報告会を印西クリーンセンターで実施予定
- (5) 3月13日に第10回検討委員会を開催する。
- (6) 3月30日に答申書提出予定

※傍聴者：20名

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第10回会議 会議録（概要版）

議 題	施設整備基本計画検討委員会第10回会議
日 時	平成28年3月13日(日)13:00～15:00
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：6名（欠席1名、松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名、コンサル：3名
配付資料	・第10回会議次第 ・第10回会議資料 ・資料外別添① ・資料外別添② ・参考資料1 ・その他資料（パブリックコメント無効意見＝非公開）

主 たる 事 項

1. 開会
 - (1) 会議録の署名は、酢崎委員、宮内委員が行う。
2. 会議録について（第9回会議）
 - (1) 概要版を資料外別添①として配布
3. 地域振興策検討委員会第9回会議の報告について（主な報告内容）

資料外別添②の概要版により説明

 - (1) 地域振興策（案）について、委員の皆さまから最終調整に関する幅広いご意見をいただき、当該ご意見を反映させた地域振興策（案）を作成し、全委員確認のうえ、2月にパブリックコメント募集及び3月6日に検討結果説明会を開催した。
 - (2) パブリックコメント募集及び検討結果説明会では、特段、修正を要するご意見はなく、多少の文言整理などをしたうえで、3月27日に開催する最終の第10回会議に臨む予定
4. 意見書について
 - (1) 意見書の提出はなかった旨報告
5. 周辺住民意見交換会について
 - (1) 事務局より報告、大迫委員長、河邊副委員長よりコメントを頂いた。
 - ① 松崎区：環境面、モニタリングについての意見を頂いているので、答申の中に反映させたいと考えている。
 - ② 吉田区：熱利用、安全安心面については、これまでの説明を通してご理解頂いたと認識している。
 - ③ 松崎区：行政に関する不信感が残っているように感じた。多くの方の理解が得られるように、事務局には頑張って頂きたい。
 - ④ 吉田区：吉田区からは、同意を得られているため、地域の方の要望・期待に応えられるようにして頂きたい。
6. パブリックコメントの報告について
 - (1) パブリックコメントの回答案は了承された。
 - (2) 回答は、組合ホームページに掲載する。
7. 検討結果説明会について
 - (1) 事務局より概要版会議録をもって報告とするほか、大迫委員長、河邊副委員長よりコメントを頂いた。
 - ① 一昨年に用地検討委員会で実施した説明会に比べると、参加者が少なかったように感じた。
 - ② 現温水センターは、経営状況が芳しくないが、次期施設はそのような状況にならないように検討をして欲しい。との意見があった。

③ 吉田区以外の印西地区住民の方々も一部関心を持って、今回受け入れて頂いた吉田区の取り組みを支援していきたいという応援の声が印象的であった。

8. 答申素案（次期中間処理施設整備基本計画（案））について

(1) パブリックコメント後から、細かい修正を加えているが、住民意見交換会やパブリックコメントによる意見を踏まえて、答申案の内容を3箇所変更・追記したいと考えている。

(2) モニタリング結果は、リアルタイムで組合ホームページに掲載されるのか。

→測定後、分析が必要なものがあるため、リアルタイムでの掲載は難しい。結果がまとまり次第、速やかに掲載したいと考えている。

→煙突出口での排ガス濃度は、組合のモニタリングポストにリアルタイムで公開されている。

(3) 測定地点について、対象地区はどこか。

→煙突高さが決定次第、環境影響評価（アセスメント）においてシミュレーションを行い、地域の方と協議をする。

(4) サーマルリサイクルについて、変更後の記載に「調査研究」とあるが、熱利用の観点か？

→本検討委員会の中で、サーマルリサイクルが決定されたわけではない。プラスチック容器包装類だけではなく、その他、焼却の際に熱が得られると考えられるものも含めて、検討したいと考えている。

→「調査研究」により、誰が責任（所管）を持つのか、不明瞭であるため「ごみ処理基本計画で検討する」などの記載が必要である。

(5) 今後のモニタリングで、誤解を招かないように、周辺環境の事前調査をしっかりと行って欲しい。

(6) 「プラスチック製容器包装」にはいろいろな種類があるが、ごみ処理基本計画では、「その他プラスチック」との記載ではないか。確認をして欲しい。

(7) 八千代市は、ニュータウン地区より次期施設に近いが、八千代市に対しては、どのような対応をするのか。

→一般的に、条例アセスメントの手続きの中で関係市町村から意見を聞くことになるため、そのやり取りの中で対応することになる。関係市町村の範囲などは、県の当局から指導があり、それに従って縦覧を行うことになる。

(8) 基本計画（案）の最終調整については、事務局、大迫委員長、河邊副委員長で行うことで了承された。

9. その他

(1) 住所氏名未記入で提出されたパブリックコメントの無効意見報告

(2) 委員長、副委員長、委員より挨拶

(3) 10回の検討委員会全てが終了

(4) 地域振興策検討委員会は、3月27日（日）に最終の委員会が開催される予定

(5) 3月30日（水）に両検討委員会委員長から管理者宛に最終答申書の提出を予定。それをもって本検討委員会の解散とする。

(6) 杉山事務局長より挨拶

10. 閉会

※傍聴者：9名